

【食道がんレジメン】

	レジメン名	コメント	催吐リスク	投与期間	コース期間	抗がん剤
1	食道-外006 ; FP+RT療法		高度催吐性リスク	4	28	シスプラチン点滴静注:75mg/m ² Day1 フルオロウラシル注:1000mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4
2	食道-外015;mDCF療法		高度催吐性リスク	5	21	ドセタキセル点滴静注液:60mg/m ² Day1 シスプラチン点滴静注:6mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 フルオロウラシル注:350mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5
3	食道-外095;DTX療法		軽度催吐性リスク	1	21	ドセタキセル点滴静注液:70mg/m ² Day1
4	食道-外096;DTX療法(アルコール禁用)		軽度催吐性リスク	1	21	ドセタキセル注(ドセタキセル):70mg/m ² Day1
5	食道-外114 ; FP(5FU800+CDDP80)療法	※術前は21日毎2コース//術後、 切除不能・再発は28日毎が目安	高度催吐性リスク	5	21	フルオロウラシル注:800mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 シスプラチン点滴静注:80mg/m ² Day1
6	食道-外121;weeklyPTX療法		軽度催吐性リスク	36	49	パクリタール注:100mg/m ² Day1 Day8 Day15 Day22 Day29 Day36
7	食道-外134 ; DCF(DTX70 + CDDP70 + 5FU750)療法	※術前は21日毎2コース//術後、 切除不能・再発は28日毎が目安	高度催吐性リスク	5	21	ドセタキセル点滴静注液:70mg/m ² Day1 フルオロウラシル注:750mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 シスプラチン点滴静注:70mg/m ² Day1
8	食道-外147 ; ベムドリンマブ + FP(5FU800+CDDP80)療法	※一次治療(最大6コース)	高度催吐性リスク	5	21	キイトルダ点滴静注:200mg Day1 フルオロウラシル注:800mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 シスプラチン点滴静注:80mg/m ² Day1
9	食道-外148 ; ベムドリンマブ + FP(5FU800+CDDP80)療法	※条件付きレジメン (Pembro + FP療法後の維持療法)	軽度催吐性リスク	5	21	キイトルダ点滴静注:200mg Day1 フルオロウラシル注:800mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5
10	食道-外149;【術後補助】ニボルマブ療法	※術後補助療法(投与期間は 12ヵ月間まで)	最小度催吐性リスク	1	14	オプジーボ点滴静注:240mg Day1